物理学

統計学

					114	j	週時	間参	ά								
	分野		区分	授業科目	単位数	一年次	二年次	三年次	四年次	教職			分野			区分	授 業
			必	フレッシュマンセミナー	2	F2								専門共	科	必	地域環境科
		導入科目	必	共通演習	1 L1								共通	Ħ	П	地球環境と	
		科目	必	情報基礎(一)	2	F2				必				創生型	科		環境学習と
			必	情報基礎(二)	2	L2				技					Ħ		源流文化学
	全			スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2				必						必	生産環境工
総	学	スポーツ目 ツ目		スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2				必						必	数学
/hCv	共			特別講義(一)	2											必	数学演習
合		9H		特別講義(二)	2											必	基礎力学
	通	課題別		特別講義(三)	2											必	基礎力学演
教	科	科		特別講義(四)	2									育	¥	必	材料力学
育	目	目	П	インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2	П						専門基礎科目	月た	必	熱力学	
'				インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2								1000	林ビル	必	応用数学
科		就		キャリアデザイン	1		F1							Ē	i	必	応用数学演
		就職準備科目		ビジネスマナー	1		L1									必	測量学
目		督		インターンシップ	1			L1								必	測量実習
		1)		基礎生物	2	F2						専				必	生産環境工
	学部	リメディアル教育科目		基礎化学	2	F2							学			必	応用測量学
	学部共通科目	アル		基礎物理	2	F2						导	-J-			必	基礎実験
		教育		基礎数学	2	F2						門	科	П		П	地域資源利
		科目		文章表現	2	F2											地形地質学
	全	基盤英語科目	必	英語(一)	2	F2				必		教	専				地域環境保
	全学共通科目		必	英語(二)	2	L2						育	門		地址		農地環境工
	通科	語科	必	英語(三)	2		F2					13	1,		城資源		農村計画学
外	苜	目	必	英語(四)	2		L2					科	科		地城資源利用分野		農村環境工
国		実		英語リーディング	2	F2									野		土地改良学
	学	実用英語		TOEIC英語初級	2			F2				目	目				国土防災工:
語	部	科		TOEIC英語中級	2			L2									海外農業開
科	共	Ħ		科学英語	2			F2									資源管理制
目	通	初		中国語(一)	2	F2								車		必	環境土壌物:
	科	初修外国		中国語(二)	2	L2								専門コア科目		必	土質力学
	B	四語科目		ドイツ語(一)	2	F2								ア科		必	土質力学演
		科目		ドイツ語(二)	2	L2								Ħ	泵		環境気象学
		人		哲学	2	F2									現情報		情報処理工
		人間関係科目	選	科学の歴史	2	L2									<b>境情報利用分野</b>		環境物理学
			必	文学概論	2	L2									野	П	流域水文学
専	学	Ħ		技術者倫理	2			L2									広域環境情
門門	科	社		日本国憲法	2		L2			必							地水環境工
教	基	会関	選	地域と文化	2		L2									П	環境リモートセ
	_	会関係科目	必	現代社会と経済	2	İ	Γ	F2							璟	必	構造力学
育	礎	目		国際関係と社会問題	2			L2							- 境基般	必	構造力学演
科	科			生物学	2	F2				理生					環境基盤創成分野	必	水理学
目	目	自然		化学	2	F2	Г			理化					野	必	水理学演習
		然関係	選必	地学	2	F2				理地							
		201	12		_	1	_	_	-								

分野						単	ì				
			区分	授業科目		一年次	二年次	三年次	四年次	教職	
		専門	科	必	地域環境科学概論	2	F2				
		専門共通	Ï		地球環境と炭素循環	2	L2	Г			
		創	科		環境学習と体験活動	2		F2			
		創生型	Ħ		源流文化学	2		F2			
				必	生産環境工学概論	2	F2				農
				必	数学	2	F2				
				必	数学演習	2	F2				
				必	基礎力学	2	L2				理物
				必	基礎力学演習	2	L2				理物
		自	ji.	必	材料力学	2	L2				技
		其P 表似和 E	月点	必	熱力学	2	L2				理物
		00 元	kE 1	必	応用数学	2	L2				
		Ė	i	必	応用数学演習	2	L2				
				必	測量学	2		F2			農
				必	測量実習	2		F4			農
				必	生産環境工学基礎演習	1	F1				農
専	学			必	応用測量学	2		L2			農
	,			必	基礎実験	2		L4			技
門	科				地域資源利用工学	2		F2			農
					地形地質学	2		F2			理地
教	専				地域環境保全学	2		L2			農
育	門		超級		農地環境工学	2			F2		農
			地域資源利用分野		農村計画学	2			L2		農
科	科		利用分		農村環境工学	2			F2		
	_		野		土地改良学	2			L2		農
目	目				国土防災工学	2			L2		
					海外農業開発工学	2				F2	農
					資源管理制度論	2				F2	農
		専		必	環境土壌物理学	2		F2			理物
		門コア		必	土質力学	2		L2			理物
		ア科目		必	土質力学演習	2		L2			理物
		H	最級		環境気象学	2	L2				理地
			情報		情報処理工学	2		L2			理地
			環境情報利用分野		環境物理学	2			F2		理物
			野		流域水文学	2			F2		理地
					広域環境情報学	2			F2		技
					地水環境工学	2			L2		農
					環境リモートセンシング工学	2			L2		理地
			環体	必	構造力学	2		F2			理物
			現基盤	必	構造力学演習	2		F2			理物
			環境基盤創成分野	必	水理学	2		L2			理物
			뽜	必	水理学演習	2	L	L2	L		理物

						ì				
<b></b>	r F		区分	授業科目	単位数	一年次	二年次	三年次	四年次	教職
Т				土木材料学	2		F2			農
	- 1 1	環境		鉄筋コンクリート工学	2		L2			技
	Ш	基		社会基盤工学	2			F2		技
		盤創		土木施工法	2			F2		
	Ш	成		水利施設工学	2			F2		農
		分野		環境土木学	2			L2		
				河川工学	2				F2	農
	専門			エネルギー工学	2		F2			農
	コア			生産機械情報工学	2		F2			農
	科	機械		機械力学	2		L2			技
	目	仮シ		電気・電子工学	2		L2			技
専		ステ		食品工学	2		L2			
門 学	ا ا	ム創		計測・制御工学	2			F2		技
乖		朋成		農業・建設機械学	2			F2		技
教具		分野		農産加工流通工学	2			F2		技
育門	1			設計製図	2			L2		技
和	ŀ			バイオロボティクス	2			L2		技
科上	ľ			木材加工(製図及び実習を含む。)	2		F2			技
н	専用	月起月半		全属加工(製図及び実習を含む。)	2		L2			技
	13			栽培(実習を含む。)	2		F2			技
	和			機械(実習を含む。)	2			F2		技
		1		電気(実習を含む。)	2		L2			技
	学	24		土と水の環境	2	L2				理地
	原領域	学祭頁或 科目		作物栽培学	2		L2			
	r		必	専攻実験	2			F4		農
		1	必	専攻演習 (一)	2			L2		農
	新	2	必	専攻演習 (二)	2				F2	農
	名和和	ŀ	必	専攻演習 (三)	2			Г	L2	
	E	1	必	卒業論文	4				4	
				生産環境工学特別演習	2			2		

区分欄の必は必修科目、選必は選択必修科目を表す(空白は選択科目)。 教職欄の「必」・「○で囲んだ科目」は、教員免許取得の主要科目のため、 教職必修科目とする。

	ĺ	卒業要件単位数											
		授業科目	必要単位数										
	Ì	(a) 総合教育科目	必	修	科	目	7単位						
1		(b) 外国語科目	必	修	科	目	8単位						
			必	修	科	目	55単位						
		(c) 専門教育科目	選	択 必	修 科	目	12単位						
			選	択	科	目	20単位						
		総合教育科目 + (d) 外国語科目 の 専門教育科目 」		22単位以上									
		合	124単位以上										

卒業要件単位数について

- ●区分(d)には、次の単位を含めることができる。
- 1 他学部聴講・他学科聴講・英語による専門教育プログラム・日本語科目で修得した単位。

ただし、合計して30単位を上限とする。

- (他学部聴講・他学科聴講の履修制限単位数は16単位)。 2 選択必修科目のうち、卒業要件の必要単位数を超えて修 得した単位。
- 3 区分(c)の選択科目のうち、卒業要件の必要単位数を超え て修得した単位。
- ●リメディアル教育科目の修得単位は,卒業要件単位に含めない。
- 注)1 週時間数欄のFは前学期配当科目, Lは後学期配当科目 を表す。
- 2 学科基礎科目の人間関係分野の科目は、4科目中から 2科目を選び必修とする。
- 3 学科基礎科目の社会関係分野の科目は, 4科目中から 2科目を選び必修とする。
- 4 学科基礎科目の自然関係分野の科目は,5科目中から 2科目を選び必修とする。
- 5 外国語科目の初修外国語は、在学中1ヶ国語のみ修得することができる。(複数の外国語の修得は認めない)。
- 6 3年次より選択する生産環境コース、技術者養成コースについては「生産環境工学ガイド」を参照すること。
- 7 測量士補の資格取得については、「生産環境工学ガイド」 を参照すること。
- 8 教職課程科目について
- 学科専門分野の専門実用科目に配当されている「木材加工(製図及び実習を含む。)」「金属加工(製図及び実習を含む。)」「金属加工(製図及び実習を含む。)」「機械(実習を含む。)」「電気(実習を含む。)」は、教職課程履修者のみ履修することができる。
- ただし、学科の卒業要件単位に含めないので注意する こと。
- 9 リメディアル教育科目の履修者は、4月に実施するプレイスメントテストにより決定する。(生産環境工学科では、基礎物理、基礎数学、文章表現の3科目を対象とする)

理物